



平成27年8月7日  
海上保安庁

## 五島列島沖に眠る旧日本海軍の潜水艦群

海上保安庁は長崎県五島列島福江島沖の海底に、20隻以上の沈没船の船影を発見しました。これらは第二次大戦後に米軍により海没処分された旧日本海軍の潜水艦と考えられます。

平成27年7月に測量船「海洋」は、五島列島福江島東南東約35km、水深約200mの平坦な海底（図1）に、沈没船と考えられる高まり多数をマルチビーム音響測深機で捉えました（図2）。これらは東西約4km、南北約2kmの範囲に24個認められます。この海域では、昭和21年4月に米軍により旧日本海軍の潜水艦24隻（表）が海没処分されたとの記録があることから、今回発見された多数の沈没船は旧日本海軍の潜水艦であろうと考えられます。

マルチビーム音響測深機による計測では、沈没船のうち最大のものは、長さ約120m、幅約15m、海底からの高さは約10mあります（図3）。これは船体の大きさから、伊402潜水艦であろうと考えられます。また、長さ約80～100mの沈没船は、同時に処分された伊号及び呂号潜水艦、長さ50m程度のものは波号潜水艦と考えられます。

伊400型潜水艦は米国本土やパナマ運河を爆撃するために建造されたもので、水中排水量は約6600トン、水上爆撃機を3機搭載し、弾道ミサイル原子力潜水艦が出現するまでは世界最大の潜水艦でした。伊400型潜水艦3隻のうち、伊400、401は、米軍による調査がなされた後に、ハワイ沖で海没処分されましたが、伊401は平成17年に、伊400は平成25年に米国の潜水調査船により発見されています。伊402については、これまで発見されていませんでした。

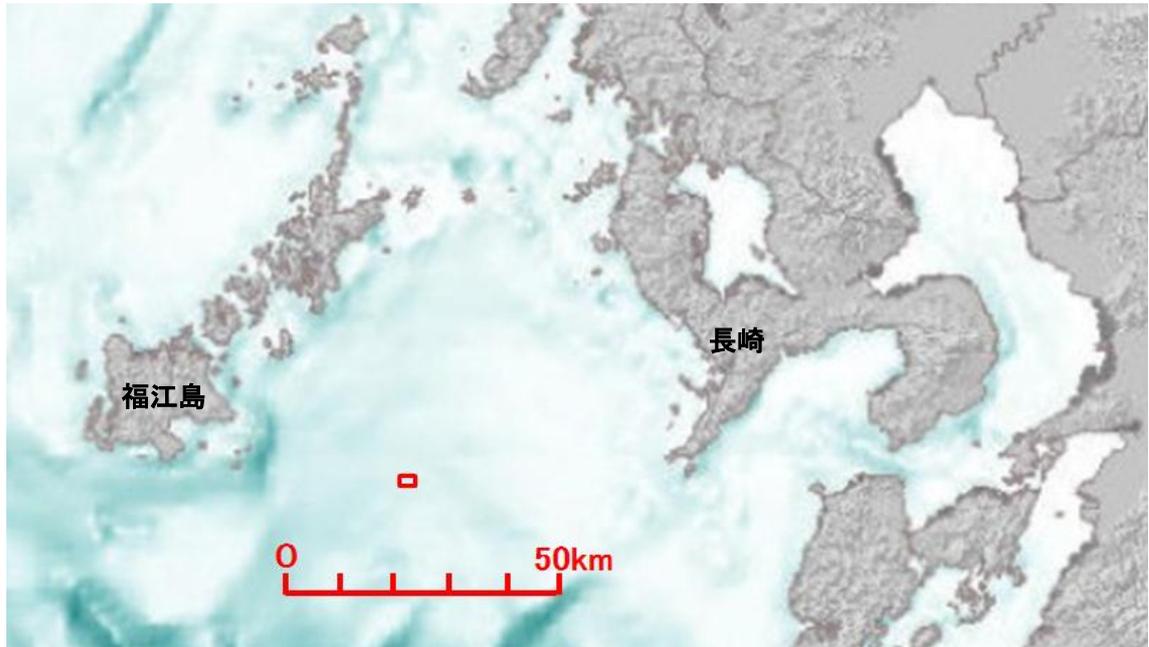


図 1 沈没船影が多数認められた海域。赤枠（東西約4 km、南北約2 km）の海底に24隻の船影が認められた。

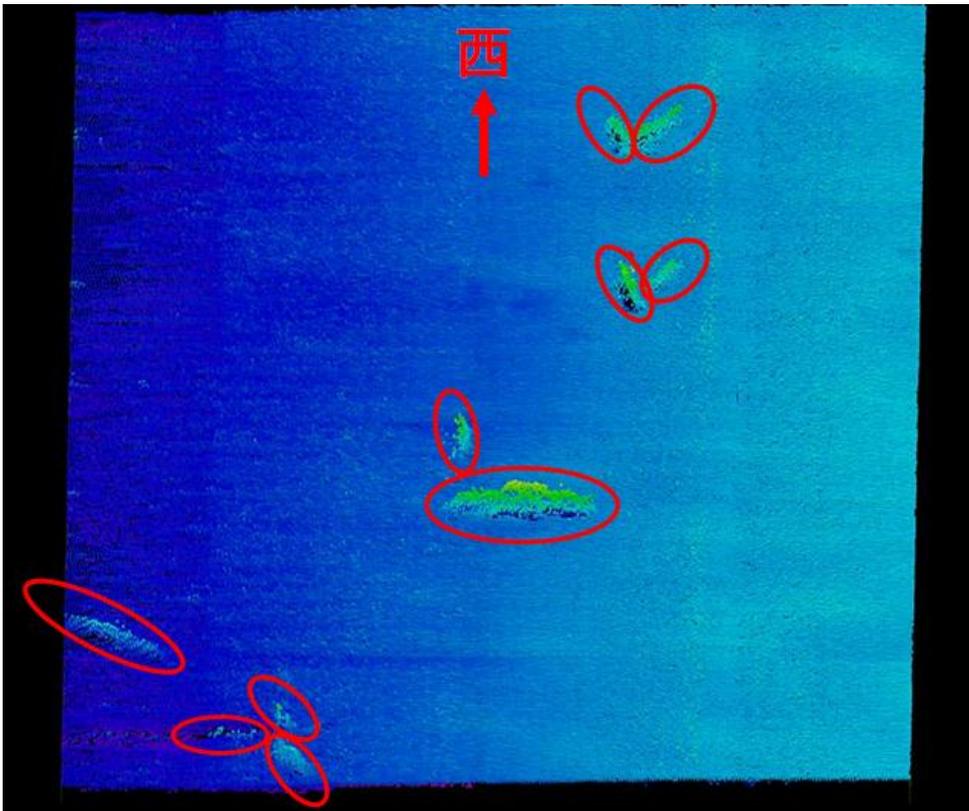
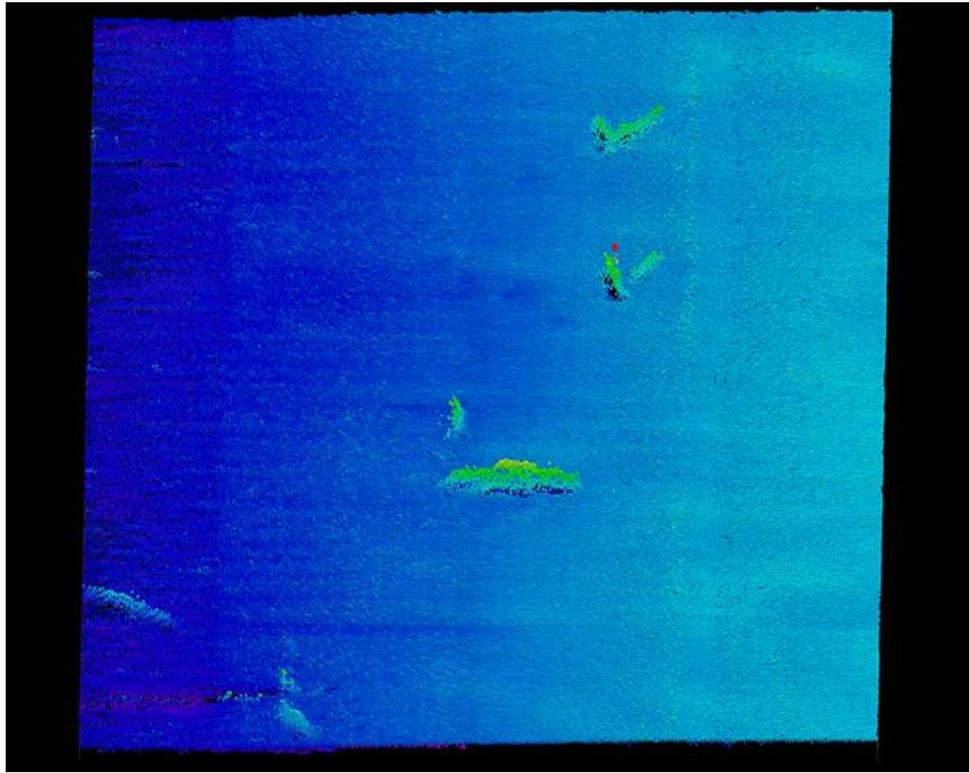


図2 海底に散らばる多数の船影（西に向かって俯瞰）。図の左右600m、奥行き1200m。本図の範囲内でも大小10隻の船影が散在している。

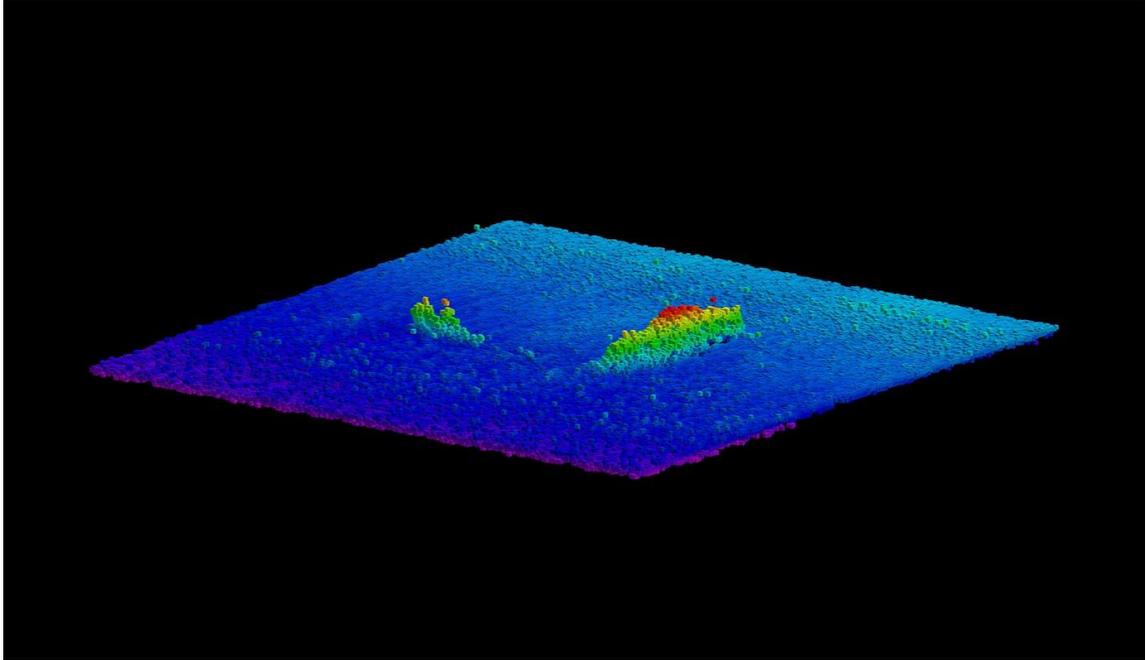


図3 本海域における最大の沈没船（右）。全長約120m、海底からの高さ約10m。左の沈没船は全長約50m。海底からの高さ約6m。

表 五島列島沖で処分された潜水艦（24隻）

伊 36	：全長109m、幅9m、水中排水量3600トン
伊 47	：全長109m、幅9m、水中排水量3600トン
伊 53	：全長109m、幅9m、水中排水量3600トン
伊 58	：全長109m、幅9m、水中排水量3600トン
伊156	：全長101m、幅8m、水中排水量2300トン
伊157	：全長101m、幅8m、水中排水量2300トン
伊158	：全長101m、幅8m、水中排水量2300トン
伊159	：全長101m、幅8m、水中排水量2300トン
伊162	：全長98m、幅8m、水中排水量2300トン
伊366	：全長74m、幅9m、水中排水量2200トン
伊367	：全長74m、幅9m、水中排水量2200トン
伊402	：全長122m、幅12m、水中排水量6600トン
呂 50	：全長81m、幅7m、水中排水量1440トン
波103	：全長45m、幅6m、水中排水量490トン
波105	：全長45m、幅6m、水中排水量490トン
波106	：全長45m、幅6m、水中排水量490トン
波107	：全長45m、幅6m、水中排水量490トン
波108	：全長45m、幅6m、水中排水量490トン
波109	：全長45m、幅6m、水中排水量490トン
波111	：全長45m、幅6m、水中排水量490トン
波201	：全長53m、幅4m、水中排水量440トン
波202	：全長53m、幅4m、水中排水量440トン
波203	：全長53m、幅4m、水中排水量440トン
波208	：全長53m、幅4m、水中排水量440トン

